

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 12月 18日

【評価実施概要】

|       |   |       |           |
|-------|---|-------|-----------|
| 事業所番号 | 2072900323  |       |           |
| 法人名   | 特別医療法人財団 城西医療財団                                   |       |           |
| 事業所名  | 特別医療法人城西医療財団 かたくりの郷                               |       |           |
| 所在地   | 長野県北安曇郡白馬村大字神城字天神原2 2 8 4 4<br>(電 話) 0261-75-7125 |       |           |
| 評価機関名 | コスモプランニング株式会社                                     |       |           |
| 所在地   | 長野市松岡1-35-5                                       |       |           |
| 訪問調査日 | 平成19年12月7日  | 評価確定日 | 平成20年1月8日 |

【情報提供票より】 (平成19年11月20日事業所記入)

(1) 組織概要

|       |            |        |                    |
|-------|------------|--------|--------------------|
| 開設年月日 | 平成13年4月16日 |        |                    |
| ユニット数 | 2 ユニット     | 利用定員数計 | 12 人               |
| 職員数   | 9 人        | 常勤     | 7人, 非常勤 2人, 常勤換算9人 |

(2) 建物概要

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 木造 造り  |       |
|      | 1 階建ての | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |              |       |
|---------------------|------------|----------------|--------------|-------|
| 家賃(月額)              | 1,000 円    | その他の経費(月額)     | 水道光熱費1,100 円 |       |
| 敷 金                 | 有 ( 円)     | 無              |              |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有 ( 円)     | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無        |       |
| 食材料費                | 朝食         | 200 円          | 昼食           | 300 円 |
|                     | 夕食         | 400 円          | おやつ          | 0 円   |
|                     | または1日当たり 円 |                |              |       |

(4) 利用者の概要 (平成19年11月20日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 12 名    | 男性   | 4 名  | 女性 | 8 名  |
| 要介護1  | 5       | 要介護2 | 4    |    |      |
| 要介護3  | 1       | 要介護4 | 1    |    |      |
| 要介護5  | 1       | 要支援2 | 0    |    |      |
| 年齢    | 平均 81 歳 | 最低   | 67 歳 | 最高 | 90 歳 |

(5) 協力医療機関

|         |           |          |
|---------|-----------|----------|
| 協力医療機関名 | ・市立大町総合病院 | ・大北歯科医師会 |
|---------|-----------|----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高い理念を掲げた医療・保健・福祉サービスの複合施設が自然豊かな白馬村に医院・老人保健施設を中心に運営されている。その敷地内にグループホームの先駆けとして大北地区1番目に開所された「かたくりの郷」がある。本人本位の切れ目のないサービスがそれぞれの併設施設内で展開されており、併設施設との関わりを持ちながら入居した方が多いので、ホームの生活に馴染むのも早い。6人単位で2ユニットを有し、居室は広く、トイレ・洗面所が備え付けられている。温泉利用の風呂からは杉林が見えるなど、絶好の環境づくりがされている。職員の研修機会も多く、職員間で知識・技術の共有化も図られており、質の高いサービスが提供されている。管理者及び職員が地域や家族の関わりを大切にすることを重要視しており、実際に入居者とともに歩む姿に「かたくりの郷」への周囲からの信頼度の高さを実感した。

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)   |
|       | 前回改善課題はなかったが、職員は納得した支援を行うため、自己評価で気づいた点を話し合いながら尚一層各入居者が充実した生活が出来るよう、生活の質の向上に向け支援している。   |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)  |
|       | 職員全員で自己評価を行い、そこから気づきも生まれて実践につなげている。その取り組みは熱心である。   |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)   |
|       | 運営推進会議の席上では外部評価の結果やグループホームの様子等を報告している。議題の説明をし、意見を聞いて、サービスの向上に役立っている。複合施設のある所在地が二つの地区にまたがっているため、地元代表として委員に区長が2名選出されている。ホームと地域との関わりも深く、協力が得られている。入居者がメンバーになっており、入居者サイドの意見も聞かれ、他委員からの理解も深まっている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)  |
|       | 家族の関わりを大切にし、ホームに来居の際は入居者の様子を話している。かたくり便り(月1回)を発行している。意見が言いにくい方には意見箱、苦情窓口が用意されている。かたくりの郷独自のCSアンケート(満足度調査)を行っている。  |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)   |
|       | 地域との繋がりを大切にしている。複合施設白馬メディア合同行事(開設記念祭・納涼祭)には、地域の住民に呼びかけて年々参加者も多くなり、関心も高まり、理解が深まっている。ホームでは「かたくり茶房」を出店し、訪れた方達と入居者との新たな関わりが生まれている。   |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |  |                      |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |  |                      |                                  |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 法人の理念を基に2年前に職員全員で「理念とは？」から始まり、かたくりの郷の理念をつくり変えた。「かたくりの郷理念」・「かたくりの郷基本方針」・「ご利用者の権利」をいつも念頭に支援している。 |                      |                                  |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 職員全員で常に振りかえり、理解し、浸透させている。職員全員が共有するための一つの方法として、法人の理念と共にかたくりの郷の理念を個々のネームプレート中に入れ、実践に取り組んでいる。     |                      |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |  |                      |                                  |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域のつながりを大切にし、併設施設の行事（開設記念祭・納涼祭）の際は地域住民を招待し、地域の関わりを深めている。毎年、開設記念祭で「かたくり茶房」を開き、訪れた方達との関わりが出来ている。 |                      |                                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 外部評価は今回で3回目であるが、評価の意義・目的を再認識し、その都度、全員で行った自己評価結果を分析し、気づきを共有しながら、改善へ向けての取り組みがなされている。             |                      |                                  |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------|------|--|---|----------------------|---|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 会議は3ヶ月毎に行われている。推進委員のメンバーに入居者がいるので、入居者サイドの意見も聞かれる。敷地の関係で二つの区の区長が委員と選出され、地域の情報等をいただき、協力も得られている。会議ではホームの基本目標の説明や現況報告をし、意見をいただき質の向上につなげている。 |                      |   |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 村の保健福祉課の職員が運営推進会議に参加しており、情報を交換し、積極的に関わっていただいている。地域包括支援センター主催の連絡会に月一回参加、入退居の件等も含め、意欲的に相談に応じてくれている。                                       | ○                    | 入居者が長期入院しても安心して療養でき、また回復したらホームに帰ることが可能なシステム・「短期利用共同介護」の指定が受けられるように、継続して行政と手を取り合い推進していただきたい。 |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |   |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | ホームでの様子は来居時や電話等の折りにふれ報告がされている。金銭管理については家族に見ていただきサインをいただいている。「かたくり便り」は定期的に月1回発行され、入居者の様子や職員の異動等をきめ細かく知らせている。                             |                      |   |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族参画型のホームを目指し、非番の職員がボランティアで入居者・家族と温泉旅行を楽しむなど、共に過ごすことにより悩みや本音、意見を聞く姿勢を常にとっている。意見箱の設置もあり、CSアンケート（満足度調査）を送付し、無記名での調査もしている。                 |                      |   |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人ではホームに適した職員配置に配慮している。異動があってもチーム全体で連携しながらダメージを防ぐ取り組みをしている。   |                      |   |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |   |  |                      |                                  |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                 | 職員の研修の受講を奨励している。「個人研修カード」が作られていて、研修参加が把握できるようになっている。人事考課にも加味されるので、職員のやる気を引き出している。法人内で定期的に認知症をはじめ研修の機会が設けられており、働きながらトレーニングが出来る仕組みがある。 |                      |                                  |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている       | 地域のグループホームと共に積極的に取り組んでいる。情報交換を行い、地域全体で高齢者支援に関わる施設間の連携を重視し、ネットワーク作りに協働・参画している。  |                      |                                  |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |      |   |  |                      |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 12                               | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 併設施設との関わりを持ちながら入居した方が多いので、ホームへの馴染みが早く、落ち着いた生活が送られている。併設施設には地域の友人もおり、交流する場面が見られる。また、併設施設に趣味のサークル活動があり、その場に出かけ、生活の幅が広がっている方もいる。        |                      |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 人生の先輩として尊敬し、入居者一人ひとりの生活を尊重し、同じ視点から喜びや悲しみを共有している姿に支援の質の高さが窺えた。  |                      |                                  |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |   |                      |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |   |                      |                                  |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日頃の会話や生活暦の中から把握した希望や意向を大切に、入居者一人ひとりの日々の表情や思いを汲み取り、受け止めるような支援がされている。               |                      |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                      |                                  |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 介護計画は家族と話し合い、家族が出席できない時は事前に電話で了解を得ながらサービス担当者会議を行っている。本人・家族の意向や思いを汲んだ介護計画が作成されている。 |                      |                                  |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月毎に見直しをしている。入居者の状態が変わった時は随時計画の見直しを行い、変更後の計画は本人・家族の了解を得ている。                      |                      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |   |                      |                                  |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 本人から外出・受診等の希望があり、家族が対応出来ない時はホームで外出サービスを行っている。併設施設のサークルに参加する入居者もいる。                |                      |                                  |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷


| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 入居時に本人・家族の希望、医療機関の確認をとっている。歯科医・専門医についても希望の機関での受診の支援を行っている。                                 |                      |                                  |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ケアプランに緊急時や看取りについての方針を記載する欄があり、家族と話し合っ方針を確認している。状態に変化がある都度確認し、本人・家族の意向に沿うようにしている。           |                      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |                                  |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 職員は入居者の権利（個人情報及びプライバシーが保たれ、個人の自由と好み及び主体的な決定が尊重されること）についてネームプレートに入れており、いつも念頭において支援に取り組んでいる。 |                      |                                  |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 一日の流れはあるが職員側の予定に合わせるのではなく、個々の気持ちを尊重し、体調に配慮しながら支援を行っている。個別性のある支援にユニットごとの特徴が出ている。            |                      |                                  |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                     |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |  |                      |  |
| 22                                   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員と一緒に準備や食事作り、片付けを和やかに行っていた。得意分野での入居者の出番もあり、訪問調査当日、入居者が作ったばかりの大根煮を頂いたが、熟練した料理人の味で美味しく、入居者にも好評で残す方がいなかった。 |                      |  |
| 23                                   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 温泉利用の広い浴室からは杉林が見える。浴室の段差がきついが利用しやすいよう工夫している。おしゃべりを楽しみながら、本人本位に入浴を楽しんでいる様子を職員からも伺った。                      |                      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |      |   |  |                      |  |
| 24                                   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 訪問調査時にはピアノが弾ける入居者に合わせ全員で歌っていた。リクエストに応じ上手に弾く音は癒しになり、和やかな雰囲気であった。一人ひとりの生活歴の中で培った「できること」が楽しみや生き甲斐になっている。    |                      |  |
| 25                                   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | ホームの周囲は自然豊かであり、その風景を見ながら個々の状態に合わせて併施設敷地内の散歩等に出掛けている。また、併施設の友人を訪ねたりしている。                                  | ○                    | 個々の状態にあわせ、近所の商店やスーパーに出かける等、地域との関わりが更に深まるような工夫が期待される。 |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |      |   |  |                      |  |
| 26                                   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 夜間のみ鍵はかけるが日中は鍵はかけていない。出掛けそうな気配の方には職員と一緒に散歩している。  |                      |  |

特別医療法人城西医療財団かたくりの郷

| 外部評価                       | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 27                         | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 併設施設と一緒に年2回の消防訓練・避難訓練を行い、地域からの参加もある。併設施設との連携がとれており、非常の際の役割が来ている。ホーム独自の対策として、非常の際に個々の必需品を入れ持ち出しが出来るようにリュックが各居室に備えつけられている。                                 |                      |                                  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |   |  |                      |                                  |
| 28                         | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 職員に栄養士がおり、栄養バランスの良い食事を状態に合わせて提供している。献立表にも工夫が見られ、水分はお茶の時間と食事からも得られるよう配慮し、摂取した水分量も把握している。  |                      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |      |   |  |                      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |      |   |  |                      |                                  |
| 29                         | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は木のぬくもりを感じ、天井が高く、昔の家という感じがする。照明にも工夫がみられ、明るくなりすぎないで、やすらぎの空間となっている。入居者と職員の和気あいあいとした雰囲気、杉林が見える山のホテルでゆったりとした気分浸っているような錯覚におちいってしまった。                      |                      |                                  |
| 30                         | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室は広く収納場所もある。自宅から持って来た物を入れても余裕があり、写真や趣味のものが置かれている。趣味の手作りのドライフラワーが飾られており、入居者の感性を大切にしていることが垣間見られた。各居室にはカーテンで仕切られた広い洗面所とトイレがあり、使いやすく落ちついた生活が送られるよう配慮がされている。 |                      |                                  |

※  は、重点項目。